

# 教育支援部だより No.3

H30、7月

今回は、今年度よりきのかわ支援学校に入学した高等部1年生、男子生徒A君の事例です。校舎、先生も友だちも初めて。きっと緊張していただろうと想像できます。入学式の次の日から給食が始まりました。中学校では、教室で給食を食べていましたが、高等部1年生は、教室でなくランチルームで食べます。担任は、なにも思わず「給食を食べに行こう！」と声をかけました。A君は、行ったことも見たこともないランチルームに行くことができず、1日目は食べられませんでした。次の日は、校内探検をし、場所の確認をしました。場所がわかり、見通しが持てたのかランチルームに行き食べることができました。しかし、数日後食べることに気持ちが向かわずランチルームに行けない日が出てきました。担任は、ランチルームにどうしていけないのか、何が難しいのか等を確認しました。(日々の関わりを通して、信頼関係を深めておくことが大事!!)

「どうしたらいけるのか～」ということを大事に提案・交渉型アプローチで取り組んだ一例です!!

## ～～提案・交渉型アプローチの関わりを通して～～

### 信頼関係がベース

【行きたくない理由】①食べたくない ②ランチルームがうるさい ③おなかがすいていない  
④体調が悪い ⑤誰と食べるのかわからない ⑥人がいっぱいいて苦手  
⑦なんか不安 ⑧給食の準備の方法がわからない

「ランチルームの配置図」  
「準備の方法等提示」

教師が①～⑧の選択肢を提示しました。  
「なんか不安」は、必ず入れるようにしています。



### もう一度同じ内容の行きたくない理由を尋ねる

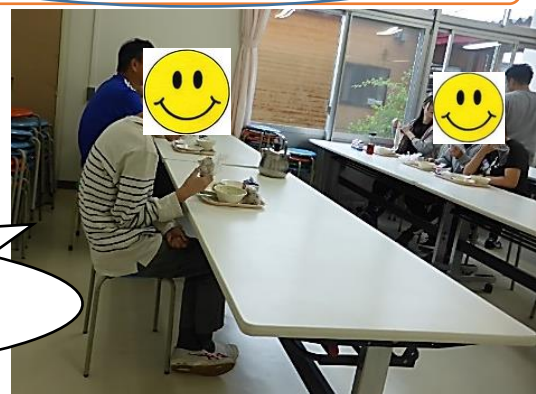
【行きたくない理由】①食べたくない ②ランチルームがうるさい ③おなかがすいていない  
④体調が悪い ⑤誰と食べるのかわからない ⑥人がいっぱいいて苦手  
⑦なんか不安 ⑧給食の準備の方法がわからない

「それだと方法があるよ」

【これでどう?】①みんながいなくて食べる ②個室で食べる ③人数が少なくなったら食べる

【いつならいけそう?】①先に食べる ②時刻をずらす

食べる時刻を12:45と決め、ランチルームで  
食べられるようになりました。



★★提案・交渉型の関わり★★

できない・やらない

✖ なぜやらないのか？

どうしたらできるのか？

✖ 叱ってやらせる

✖ 放っておく  
いう通りにする

いくつかの選択肢  
を提示し提案・交渉

自己決定

できた

☆しんどさや思いが伝わった⇒先生は分かってくれる！！（安心感）

☆ランチルームで食べられた⇒できた！！（達成感）

自尊感情（自分のことが好き・自分のことを大事にする気持ち）

が育ちます。